

## 定期報告

平成 23 年 6 月 5 日(日)

氏名:中嶋 優太(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

- 07:00 弘前本部出発
- 09:20 東和IC到着
- 10:00 民宿「ふる里」到着
- 11:30 大槌高校到着  
小笠原医師チーム、西村隊引継ぎ 代表者、保健師チームに挨拶  
昼食
- 13:00 午後診療開始  
避難所代表者、保健師チームと情報交換
- 16:00 午後診療終了
- 17:10 大槌高校出発
- 18:00 釜石市で外食
- 19:30 シーガリアマリンで入浴
- 20:30 大槌高校帰着
- 22:00 就寝

### 西村隊引き継ぎ事項

- ・保健師チームに、患者情報(疾患名、処方薬名など)を毎朝定期報告する。
- ・OTCの在庫が過剰。医療用医薬品の在庫がない場合は可能であればOTCでの代用を医師に提案する。
- ・在庫量が多い医療用医薬品については、救護所内処方にし、在庫を消費する。
- ・医療用医薬品の中には期限が切れたものがあるので注意する。

今日は、大槌高校避難所において、仮設住宅入居抽選が行われたようだ。大槌町の仮設住宅予定数 約 2000 戸に対し、今回の抽選対象となった戸数は、約 850 戸(この他に吉里吉里地区 80 戸)で、まだ半数しか完成していない。

6 月 15 日に当選者の説明会があり、その後入居できるようだ。残りの仮設住宅の一刻も早い完成を願う。

### 衛生状態

トイレ前の手指消毒薬が空になっていた。代表の三浦さんに手指消毒薬、ハンドソープ、ペーパータオルの在庫量、保管場所と補充体制を確認した。ペーパータオル以外は在庫に余裕があった。不足品は自衛隊に依頼することになった。

トイレ掃除を担当した班が、補充するように決めていたが、特定のボランティアのみが行っていたため、チェックリスト作成を提案した。

洗濯干場にも利用しているプールの水が溜まったままで、ボウフラが発生しているとのこと。排水設備の故障で、今月 15 日には改修工事が予定されているそうだが、生活の場にも近く、最近暑くなってきているため早急に対応が必要と思われた。明日現場を確認し、代表の三浦さん、学校責任者と相談し、必要であればプール用消毒剤の使用を提案したい。

### 血圧計の設置

白戸医師の要請で持参した二台の卓上型自動血圧測定器を、救護室前廊下と体育館に設置した。診察前に多くの患者が血圧を自己測定していた。体育館でも数名が早速使用されており、もっと早く設置すればよかったと感じた。診察前の看護師や避難所巡回保健師の負担を減らすことができたかもしれない。

### 保健師チームの動向

代表の椎葉保健師(愛知県)に挨拶した。釜石保健所からの要請で、大槌高校、安渡小学校、大徳院、稲荷神社の4つの避難所で活動している。

白戸医師から、避難所外の在宅ケアや巡回診療の実施状況について質問があり、保健師チームに確認したが、活動はなされていないようだった。

今回も医療チーム、町田チーム、保健師チームとも同じ日に引き継ぎとなるので注意したい。

### 日赤医療チームとの情報交換

シーガリアマリンで入浴後、日赤チームと情報交換した。日赤チームも釜石対策本部、保健所、避難所と打合せした結果、6月5日に撤退予定とのこと。

対策本部から委託された地区の巡回診療を行っているが、チームに合流したばかりで詳細は不明とのこと。

釜石市では、県立釜石病院で外来診療が行われており、医師の巡回診療も行われているようだ。

一方、大槌町は県立大槌病院の仮設診療所の開設が先延ばしされ、青森県医療チーム撤退後に、巡回診療ができる余裕があるのか不安が残る。

移動手段がなく受診できないなど医療機能の問題ではなく、行政に問題があるのではとの意見も。明日の釜石カンファレンスで時間があれば再度話し合うことになった。

### JMAT撤退後の医薬品の管理

青森 JMAT 担当の中村医師が救護所に見えられた。6月10日以降に釜石医師会が撤収に来るため、備蓄医薬品、機材、2階の持ち主不明なものはそのままでもよいとのこと。

## 明日の予定

- ・板澤薬剤師  
調剤投薬業務、処方設計支援
- ・工藤総務担当  
午前：三浦管理栄養士と調理場・配膳場所の衛生状況観察  
余裕があれば吉里吉里地区、安渡小学校を訪問
- ・八木橋、野崎総務担当  
掃除、買い出し、調理
- ・中嶋  
大槌病院仮設診療所に出向き、大槌町内の巡回診療の現状確認  
プールの状況確認、学校責任者と暫定的な消毒の提案
- ・白戸医師と板澤薬剤師で釜石カンファレンスへ

## 氏名：板澤 雅人(薬剤師)

体調：良好

行動日誌

- 07:00 本部出発。大勢の社員と記念病院の皆様にお見送り頂いた。
- 08:30 岩手山 SA 休憩。
- 08:40 岩手 SA 出発。
- 09:20 東和 IC 通過。
- 10:40 遠野市民宿ふるさと到着。記念病院女性 3 人荷物積み下ろし。
- 10:50 民宿ふるさと出発。
- 11:25 大槌高校到着。
- 11:40 救護所にて南部病院小笠原医師と佐々木看護師長に挨拶。
- 12:00 医師、看護師、薬剤師がそれぞれ救護所内にて引き継ぎ。
- 12:30 昼食。
- 12:50 愛知県保健師チームに挨拶。
- 13:00 午後診療開始。
- 16:00 午後診療終了。救護所の廊下と避難所内の二カ所に電動血圧計設置。
- 18:00 夕食。
- 19:00 シーガリアマリンにて入浴。
- 20:30 大槌高校帰着。
- 22:00 就寝。

避難所到着時刻は予定通りだったが、申し送り、昼食、保健師チームへの挨拶などであったという間に午後の診療開始時刻となった。避難所で歌のコンサートが催されておりすぐには患者も来ず、結局午後の患者は本日 5 名であった。しかし家族の認知症を心配する相談があったり、

設置した血圧計を多くの方が利用され、瞬く間に時間が経過した。

医療用医薬品は一部、過剰とも思える在庫もあった。

前の隊が見つけた手つかずの一般用医薬品はきちんと分類されていた。

在庫のない医療用医薬品が処方された場合、医師に相談させて頂きながら一般用医薬品で補うという方法も混合するなど臨機応変に対応出来たのではないかと思います。

明日は月曜日で患者数も多いと考えられる。開封済みの医療用医薬品は後日すべて廃棄される予定であるため、一般用医薬品も併せて効率よく必要な患者様に提供出来るよう提案したい。

### 工藤 源造(総務担当)

体調:良好

行動日誌

- 07:00 本部出発。
- 11:30 大槌高校に到着。斉藤総務より引継ぎ
- 12:30 小笠原医師チームと昼食。  
(弁当・いちご煮・サラダ)
- 13:00 管理栄養士 三浦さんとATV(青森テレビ)報道番組撮影打ち合わせ
- 14:00 城山体育館、つくし薬局確認
- 15:30 調理室にて管理栄養士とATV撮影立ち合い
- 16:00 業務終了

ATV番組取材の一部で避難所の給食状況の撮影があり、記念病院の管理栄養士の三浦さんの取材があり、撮影に立ち会った。

三浦さんは、給食調理者に適切なアドバイスをし、配膳所の環境衛生が良好に保たれていることを褒め、継続することの助言をしていた。

### 氏名:八木橋 郁夫(総務担当)

体調:良好

行動日誌

- 07:00 本部出発。
- 11:30 大槌高校に到着。斉藤総務より引継ぎ
- 12:30 小笠原医師チームと昼食。  
弁当・いちご煮・サラダ

13:00 後片づけ・食材在庫調べ  
15:00 食材買い出し  
17:00 夕食・入浴の為、釜石へ  
20:00 就寝

2週間前に来た時よりも当然ながら町の整備が進んでいた。以前には見られなかった町内の清掃も自衛隊だけでなく、民間の方の姿も少しながら見えた。3日間の短い期間ですが頑張りたい。

**氏名:野崎 一也(総務担当)**

体調:良好

行動日誌

07:00 本部出発。  
11:30 大槌高校に到着。斉藤総務より引継ぎ  
弁当・いちご煮・サラダ  
13:00 後片づけ・食材在庫調べ  
15:00 食材買い出し  
17:00 夕食・入浴の為、釜石へ  
20:00 就寝

初めて派遣隊に参加し、大槌高校までの道中、町並みを見て被害の大きさに驚いた。少しずつ復旧していると聞くと、悲惨な光景ばかりが目につき、復旧が進んでいるとは思えなかった。避難所では、笑顔の方もいればふさぎこんでいる方もいて、今回の大震災の悲惨さを身をもって感じた。